

# 平成 24 年度 第 3 回呉市地域公共交通協議会

## - 議 事 要 旨 -

日 時 平成 2 5 年 3 月 2 7 日 (水)

1 4 時 ~ 1 5 時

場 所 呉市広公民館 6 階 6 0 1 第 2 小会議室

### 1 開会

### 2 会長挨拶

### 3 議事

議案第 1 号 地域公共交通確保維持改善事業に係る事後評価について..... 資料 1

議案第 2 号 生活交通改善事業計画 (案) について..... 資料 2

議案第 3 号 呉市地域公共交通調査検討業務について..... 資料 3

### 4 報告

倉橋地区における生活バス運行ダイヤの変更について..... 資料 4

呉広島空港線運行実行委員会について..... 資料 5

### 5 その他

### 6 閉会



- 議 事 -

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事後評価について

発言者	発言要旨
■資料1について、事務局より説明	
会 長	・質疑等があればお願いします。無いようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一 同	・異議なし

(2) 生活交通改善事業計画（案）について

発言者	発言要旨
■資料2について、事務局より説明	
会 長	・質疑等があればお願いします。無いようなので、本件については承認されたこととして異議はないか。
一 同	・異議なし

(3) 呉市地域公共交通調査検討業務について

発言者	発言要旨
■資料2について、事務局より説明	
会 長	・質疑等があればお願いします
副会長	<p>・貴重なデータだと思う。まだ分析し足りないところがあるということなのでしっかり活用してほしい。</p> <p>・今後、路線を特徴づけて分析を行ってはどうか。例えば高齢者が多く使う路線、通学に使われている路線等に分類することで、路線の役割や維持すべきかどうか等が分析できると思う。</p> <p>・ゾーンバスシステムはシンプルで良いが、この場合、回転場が必要になってくると思う。現時点で回転場をつくらなくても（ゾーンバスシステムは）できるものなのか。</p>
事務局	<p>・これはあくまでこの調査から導き出されたイメージである。実際には、利用者が待機する場所やバスが入れ替わりながら転回する場所が不可欠であり、かなりのスペースが必要となる。現状を踏まえながら、結節点を各地区で定め、そうした場所が整備できて初めて実現が可能となる。</p> <p>・現在は、ICカードで若干の乗り継ぎ割引はあるが、乗り継ぎ無しで行ける場合より高くなる。料金の割高感があれば、乗り継ぎは受け入れてもらえない。将来的には料金システムがどうあるべきか、検討を行う必要がある。</p>

発言者	発言要旨
会 長	・乗り換えの待ち時間はわかるのか。
事務局	・アンケートでは、待ち時間までは分からない。将来的に IC カードの定期券が実現すれば、どこで乗り継ぎをしてどのくらい待ち時間があるのかが把握できる。今はそこまでは難しい。
会 長	・現状では難しいということか。
事務局	・IC カードデータを個人レベルで追いかけていけば分からない。IC カードデータがより観察しやすい形になればはっきり分かるが、現時点ではこのくらいではないか、という程度しか分からない。
会 長	・課題もはっきりしたし、今後の方向性もある程度出された。本調査は国庫補助を活用して実施しているため、事務局で最終調整をし、国へ完了報告を行わせていただく。今後は、他の国の補助事業等を活用しながらより利便性の高い交通サービスの実現に向けて、皆様のお力添えを頂きたいと思う。

- 報 告 -

(1) 倉橋地区における生活バス運行ダイヤの変更について

発言者	発言要旨
■資料4について、事務局より説明	
会 長	・質疑等があればお願いします。
一 同	・なし。

(2) 呉広島空港線運行実行委員会について

発言者	発言要旨
■資料5について、事務局より説明	
会 長	・実行委員会はただだが、4月から運行を開始するということか。
事務局	・運行開始まで多少時間がかかる。
会 長	・質疑等があればお願いします。
一 同	・なし。

- そ の 他 -

発言者	発言要旨
中本会長	・せっかくの機会ですので他に何かありますか。無いようなので、これで閉会とさせていただきます。